

国労盛岡地本地震対策 本部ニュースN05

発行 国労盛岡地震対策本部

NTT 019-622-5021

J R 033-2276

メール nrumori@poem.ocn.ne.jp

<2011年3月28日>

支援物資を被災地の

一関、宮古・釜石へ搬送

<24・25日>



・一関地区は、地区協事務所へ



・宮古地区も地区協事務所に



・釜石地区は森田薫さん自宅へ

地方本部は、被災された組合員への支援物資の取り組みを盛岡地区中心に要請。22日以降組合員から衣類など多くが届けられた。

地方本部は、本部・東日本本部で設置されている国鉄労働組合東日本地震災害対策本部に届けられている支援物資搬送に合わせ、24日に一関地区、25日には宮古地区、釜石地区に組合員から寄せられた支援物資を届けた。気仙沼地域分会には一関地区協から届けられる。

本部の対策本部から、鈴木邦夫総務・財政部長と松井正義東日本本部書記長が2トントラックに全国から届けられたペットボトル飲料水、即席カップめん、精米、衣類など多くの物資を詰め込み24日13時過ぎに一関地区協に到着、盛岡から物資を積み向かった齋藤委員長と合流、支援物資をおろし盛岡へ。

翌日25日には、盛岡地本からの支援物資もトラックと盛岡支部の車に積み、齋藤委員長、佐々木書記長も同行し7時30分に地本を出発、宮古・釜石の地に届けた。宮古・釜石・陸前高田・気仙沼などの被災地を進み言葉に言い表せない悲慘さと津波の恐ろしさ目にした。

17時過ぎには、地震で尊い命を失い、千厩町の「いわい典礼セレモニーホーム禪」で眠る熊谷秀三さんの御霊に手をあわせ、ご冥福を祈り帰路についた。